

# 「住民合意のない区画整理」反対ニュース

羽村駅西口区画整理反対の会 2023(R5)3/29 No.28 | 山崎 陽一 555.5098・神屋敷和子

**市は、財源不足の危機！**（公報はむら3月15日号）

**「事業の見直しに向けて、4月に検討会議を設置  
半年で方向性を示す」と、答弁**

☆ 公社の事業委託は来年の3月で終了。その先は未定です

☆ 住民合意のない区画整理を止めるのは、私たちです

- ・ 区画整理手法の廃止
- ・ 住民参画による意見の反映
- ・ 区画整理以外の手法での基盤整備 を求めます。

**事業は検討中です、「家屋調査お断り！」**

～3月市議会の報告～

**山崎議員：見直しを行うには、事業を中断するのが筋**

山崎：本来、この事業は今年の3月で終わる計画だったが進んでいない。

「区画整理をベースに行う」というが、区画整理は公共用地を得るために住民から土地を無償で取る話、今回平均22%。都市基盤整備は区画整理だけでなく、沿道整備街路事業や地区計画など色々ある。

市長：知識と経験を有するアドバイザーの助言等を得ながら、整備手順や事業費削減の方策、また区画整理事業以外の整備手法をエリアの特性を考慮し、地区の一部に取り入れることが出来るかどうかについて、概ね半年程度をかけて庁内で検討していく。検討する中で、令和6年度以降の事業にどのような影響が生じるかを見極めた上で、判断していきたい。

なお権利者や市民の声を聴く時期や手法等は、今後、必要に応じて検討していく。

**「2023(R5)年度の移転補償交渉は、羽東一丁目等で47棟」とのことだが、委託契約は残り1年、補償交渉は控えるべき**

市長：令和5年度の移転補償交渉は、3.4.12号線沿線の羽東一丁目等で47棟。

移転棟数は17棟を見込んでおり、仮換地先への返地は令和8年度迄に行う予定。

山崎：羽東一丁目は3・4・12号線の線形内に直接かかっていない。矛盾している。

## 移転家屋数達成の数あわせで、長期の仮住まいを強要

課長：委託契約期間4年間の移転棟数は207棟の予定だったが、93棟になる見込み。

山崎：今年度、2022(R4)年度の移転予定は15棟だった。

市長：令和4年度の移転棟数は14棟を見込んでおり、令和8年度までに仮換地先に返地の予定になるので、業務委託契約の期間を超える。



令和4年の移転から令和8年の返地まで4年間の仮住まい!!!それも予定なので延びるかも知れない。市は、なんとか移転の目標棟数を取るために、換地先がまだどうなるか分からない所の家屋にも移転を強要している。権利者に寄り添った「協議移転」ではない! 市は、都からの補助金を得るため、また公社は補償交渉の成功報酬(約70万円)が欲しいため、住民を犠牲にしている。

山崎：市長は昨年6月市議会で「仮住まい者の換地先使用が最優先。これ以上上げず、4年の債務負担行為内での事業をする」と答弁。委託契約終了後に仮住まいになる移転交渉は、これに反する。

市長：公社と業務委託契約を締結した令和2年から令和5年度までの4年間の事業範囲は計画どおり進め、権利者への影響を見極めながら慎重に対応していく。

部長：高齢、相続の過程など様々な要因があるが「協議移転」を前提にやってきた。



市は「協議移転」で進めていると言うが、ここは既成市街地なので、市とその権利者だけの問題では済まない。換地先が他の人の家に重なったり、新しい道路が出来て、そこの居住者に「どいて下さい」という圧力が生まれる。市が住民を分け、戦わせているようなものだ。

## この区画整理は、住民にしてみれば、まるでウクライナ侵攻

山崎：広い道路を造るために、土地の22%を無償提供せよ、家を取り壊して別の場所へ移動せよと、今の憲法に保障された主権在民も基本的人権もない。

そして、区画整理の借金約120億円は次の世代に引き継がれる。本当にこれは前市長時代からの負の遺産だ。

また移転交渉では、以前にも述べたが、非常に厳しい圧力をかけられている。

交渉担当者に質問しても答えず、脅かすような言葉をかけられている。市は住民の真の声を聞くべきだ。

鈴木議員：事業の見直しを前に、現場では、「あなたは何時<sup>いつ</sup>何時移転<sup>いつ</sup>の予定です。」と、権利者に説明する矛盾

鈴木：令和5年度で47棟の建物調査をしてしまうと、話をされた方は色んな事を考え始める訳です。それは今後の事業の中身を縛ってしまうことになる。矛盾ではないですか。

部長：4年間の業務委託契約の約78億円の所まで、施工エリア予定の所まで届かないが、施行者として慎重、且つ最大限に出来る部分の単年度の計画を組んだ。

鈴木：これから、どのように検証の結果が反映されるか判らないのに、現場では、「あなたは何時・何時移転の予定です」と言う話をする。そこに矛盾がある。

部長：決して矛盾にはならないように、指摘を受けないように取り組んで行く。

## 馳平議員：羽村駅西口区画整理事業は、見直しを明言すべき

馳平：市長の一丁目1番地は財政再建という話だった。検証は羽村市の財政に見合っているかどうかから検証すると思っていた。

この後、20億、30億、40億円が毎年出て本当に厳しい。私の計算だと3年後にダメになる。トップダウンで、きちっと見直しを明言して、規模や期間や資金計画を見直していかないと、沢山の市民がこれから痛みを伴う。検証会議の中に自治体財政の専門科はいたのか。

企画：財政の状況は、市から説明した中で、専門家の皆さんにご検討いただいた。

馳平：(財政の専門家が)いなかったということでしょうね。検証委員会で、「区画整理以外の手法は非現実的だ」という意見もあった。でも、この財政の状況で44億円出す方がもっと非現実的だと思う。



市は「検証会議の提言を尊重し」と言うが、検証会議の委員は殆どが区画整理を肯定的に研究してきた方達だ。地域の実情を判っているのか。

## 櫻沢議員：本地区は、埋蔵文化財がかなりある。埋蔵文化財調査費を当初計画する時に、どの程度見込んだか。

課長：施行区域42haのうち埋蔵文化財包蔵地は18ha。調査設計費は56億9700万円を組んでいる。埋蔵文化財には、現時点で約6億3000万円程度を使っている。



地域の埋蔵文化財包蔵面積は、約40%を占めます。昨年(R4)度も4箇所を調査して、約8万5000点が出土したとの答弁でした。

昭和59年の町議会で「西口地区の埋蔵文化財地区に広げると、遺跡の発掘調査で事業が大幅に遅れることが心配される」と井上町長が答弁しています。調査費や仮住まい期間が延びるので区画整理手法は適さない地域です。

## 門間議員：区画整理をこのままズルズルとやってはいけない。必要な所だけの「修復型のまちづくり」に切り替えるべき。

門間：平成8年6月の住民説明会資料に「モノレール駅を中心とした市の表玄関」とある。部長：モノレールと3・4・12号線を羽村市として、直接的に結びつけているものではない。それは平成8年の話。当時の調査や説明会、懇談会のことと平成10年の都市計画決定以降の事とは意味合いや時系列も違う、直接的な関与はない。

門間：区画整理で道路面積が30%にもなる。その土地は住民の方達の大切な財産を無償で提供させるわけです。キチンとした情報提供と理解が必要。

何故40mの道路幅が必要なのか、「計画として必要だった」では説明にならない。

当初の事業期間20年を過ぎ、総事業費は370億円から436億円に増えた。

こういう事業をズルズルとやってはいけない。修復型のまちづくりにすべきです。



平成8年、事業の出発時点の説明会で、市は住民に「この事業はモノレール用地確保のため」と説明した。しかし、モノレールの来る当てがなくなったり、羽村大橋への2重構造はモノレールで三重構造になるのか？等、全てが曖昧で、いい加減な計画のため、市も都も途中から言わなくなった。無責任な話だ。住民は、モノレール駅の最大幅40mという巨大な3・4・12号線の犠牲になれ、土地を出せと言われて始まった区画整理事業に今も憤慨している！

## 水野議員：ここに、元町長の念書がある。「地域住民と充分話し合いを行い、その理解のもとに実施するものとする」

水野：昭和63年11月12日、当時の羽村町長の井上篤太郎氏が森田修策さんに出した「文書」の控えがある。「羽村駅西口地区の開発に関する念書」、「羽村町は、羽村駅西口地区について今後、町が開発事業を行う場合には、次の事項を基本として実施するものとする。」その中の三つ目に「今後、関係権利者及び地域住民と十分話し合いを行い、その理解のもとに実施するものとする。」とある。

部長：手元にその当時の物が無いので、それについては、確認をさせて頂きたい。

## 印南議員：次世代へ向けた持続可能なまちづくりへ

印南：検証会議での提言の最後のページに「しっかりと権利者の生活設計に対応していけるように、権利者の考えを考慮していくこと。」と明記されている。また併せて「魅力ある街として発展していけるように考えていく」とある。今後は、こうした議論がより一層重要になってくるのではないかと思う。

副市長：羽村市の基本方針としては、併せて地区の特性等を考慮した上で、区画整理以外の手法が取り入れられるのか、られないのか、どういった影響があるのか、そういったことも検討することを基本的な方針としています。

印南：現在、鉄パイプに囲まれた通学路を歩き来している子供たちがいる、これが現実です。こうした状況を1日も早く改善し、この子供たちが将来この羽村市に住み続けたい、この地域に住み続けたいと思って貰えるよう魅力ある街にしていかなければならないと思う。

**既成市街地の区画整理は、減歩や清算金、長期間の仮住まい・2度の引っ越し等、住民犠牲が大きすぎる！**

\*皆さんから寄せられたご意見でニュースを作っています。ご意見をお寄せ下さい。